

## 電波時計 (掛時計) 取扱説明書

○○○ 特長 ○○○

これは便利！自動で時刻合わせ

標準時刻の電波を受信して毎日時刻合わせを自動的に行います。

月日、時刻をデジタル表示

針による時刻表示に加え、デジタルで月日、時刻、秒、年を表示。

### お問い合わせについて

お問い合わせの際は、時計裏面などに表示してあります製品番号をお伝えください。(例 4MY ○○○)

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-557-005

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<http://www.rhythm.co.jp>

# 目 次

|                             |      |
|-----------------------------|------|
| 1. ご使用上の注意                  | P.3  |
| ご使用する上で守っていただきたいことが書いてあります。 |      |
| 2. 電波時計について                 | P.4  |
| 電波時計の特徴や海外での使用について書いてあります。  |      |
| 3. ご使用場所について                | P.5  |
| 時計を設置していただくときの条件などが書いてあります。 |      |
| 4. 各部の名称と役割について             | P.6  |
| 各部の名称やその役割について書いてあります。      |      |
| 5. 時計の使い方                   | P.7  |
| 電池を入れて受信するまでの手順が書いてあります。    |      |
| 6. 時計の掛け方                   | P.8  |
| 7. 電池交換時期のお知らせ機能            | P.8  |
| 8. 電波受信のON/OFF切り替え          | P.9  |
| 9. 表示の切り替え                  | P.9  |
| 10. スリープモニターと明暗センサー         | P.9  |
| 11. 電波を受信できない場合             | P.10 |
| 12. お手入れについて                | P.11 |
| アフターサービスについて                | 裏表紙  |
| 製品仕様                        | 裏表紙  |

## 付属品

---

|              |     |                |
|--------------|-----|----------------|
| 木ねじ          | 1 個 | (壁掛ねじ：厚い木質の壁用) |
| 単 3 形アルカリ乾電池 | 2 個 |                |
| 取扱説明書        | 1 冊 | (この説明書です)      |
| 保証書          | 1 枚 |                |

# 1.ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」内容です。



警告

この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



強制

この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



注意

この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

## 誤飲による事故防止について



警告

小さな部品や小形の電池（ボタン形、コイン形および単4形、単5形など）は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

## アルカリ電池について



警告

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

## 電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

- +（プラス）、-（マイナス）を逆に入れないでください。
- 指定された電池を使用してください。
- 新しい電池と古い電池の混用や種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子（接触部）の汚れを落としてから入れてください。



注意

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。



分解禁止



注意

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。



注意

表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸でよく洗い流してください。口や目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。

## 2. 電波時計について

### 電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

### 標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

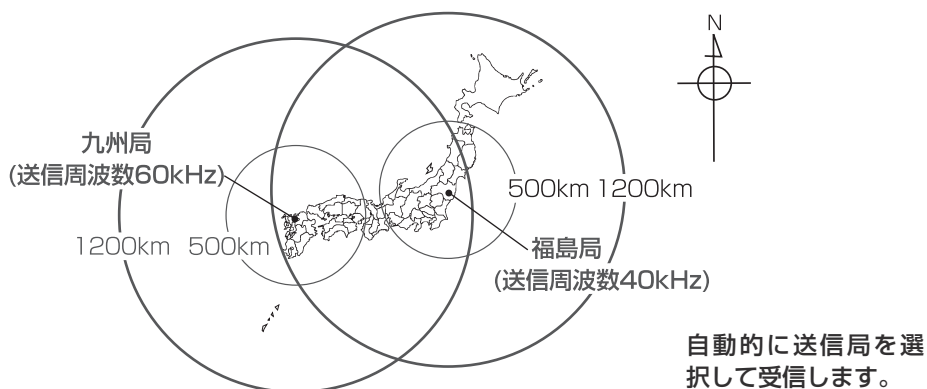
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。  
(<http://jy.nict.go.jp>)

### 受信可能な範囲

送信所からおおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、設置場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



### ○ 標準電波の送信が止まることがあります

送信所の定期点検や落雷などにより送信が停止することがあります。詳しい情報は、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

### ○ 海外でのご使用について

日本以外の国で送信されている標準電波を受信することができません。

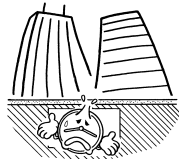
海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信して日本の標準時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので電波受信スイッチを「OFF」にしてお使いください。

### 3. ご使用場所について

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい窓際などでお使いください。

#### 電波を受信しにくい環境について

つぎのような場所では受信できない場合や誤った表示をすることがあります。



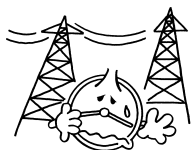
ビルの地下や大型ビルの奥まった部屋など電波の届きにくいところ



工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所



電化製品やOA機器の近く、またはスチール机等の金属製家具の上や近く



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



金属製の雨戸やブラインドの近く



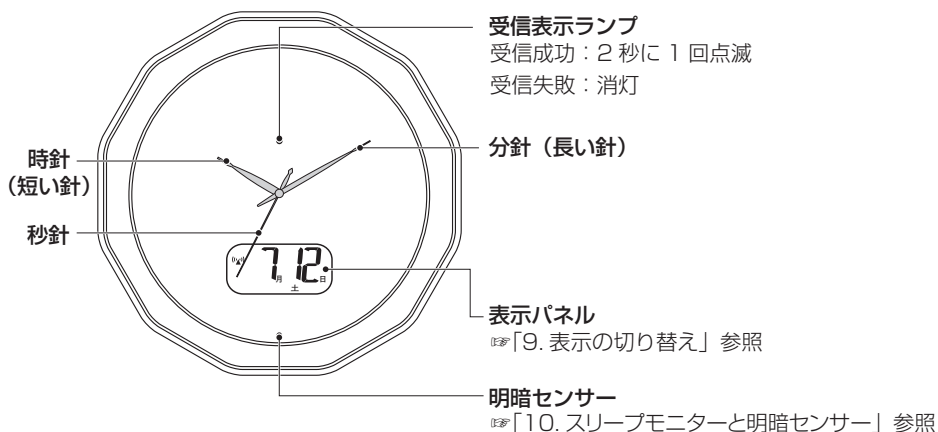
朝夕の時間帯、雨天のとき

#### 下記のような場所では使わないでください。

機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃（50度）以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃（氷点下10度）以下になる所。（プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。）
- 浴室など、湿気の多い所。
- ほこりが多く発生する場所。（空気中のちりなどが機械部にたまって、時計が止まることがあります。）
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。（磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。）
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。（霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。）
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせると、相互に色移りしたり、付着することがあります。

## 4. 各部の名称と役割について



### 時針・分針の動きについて

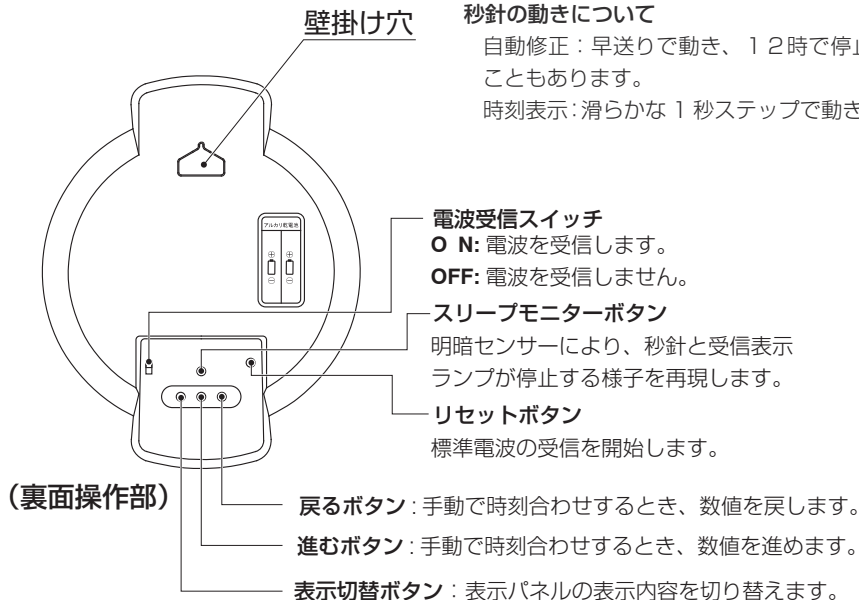
自動修正：早送りで動き、一時的に停止することもあります。

時刻表示：10秒単位に動きます。

### 秒針の動きについて

自動修正：早送りで動き、12時で停止することもあります。

時刻表示：滑らかな1秒ステップで動きます。



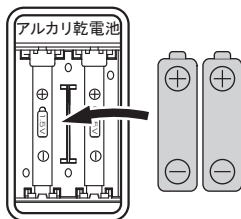
図は説明用ですので商品と形状などが異なることがあります。

## 5. 時計の使い方

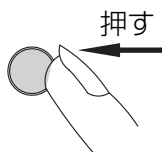
- ① 電波受信スイッチをONにする。



- ② 電池を入れる。



- ③ リセットボタンを押す。



- ① 電波受信スイッチをONにする

- ② 電池を入れる

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、電池を入れます。

- ③ リセットボタンを押す

電波の受信を開始します。

※受信中はボタン操作をしないでください。

※受信が終わるまで針は止まったままです。

- ④ 時計を掛る

「6.時計の掛け方」(P.8)をお読みの上、落下しないよう確実に掛けてください。

- ⑤ 電波受信の結果を確認する

受信には2～22分かかります。

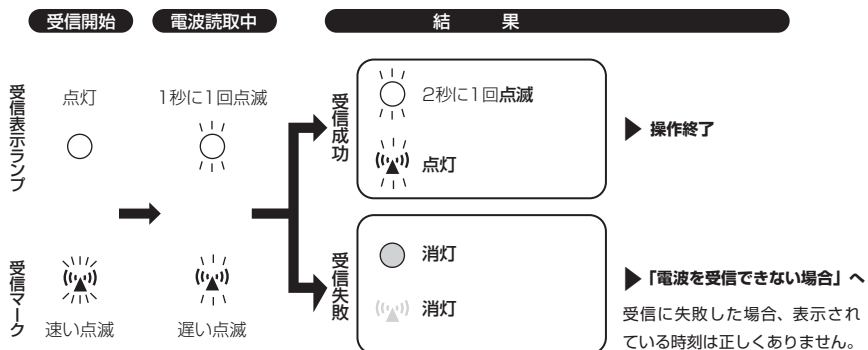
受信表示ランプまたは表示パネルで確認します。

※まれに受信に成功してもノイズなどにより誤った表示をすることがあります。リセットボタンを押してください。

※受信に失敗した場合は「11.電波を受信できない場合」(P.10)をご覧ください。

### 【受信の流れ】

受信表示ランプまたは受信マークの状態を確認します。



## 6. 時計の掛け方



強制

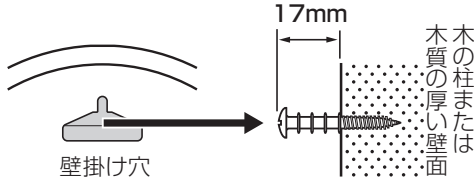


注意

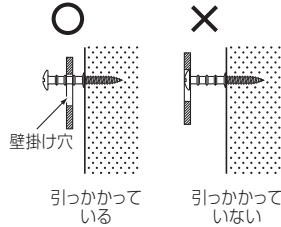
時計が落下しないよう確実に掛けてください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



(形状は商品により異なることがあります)



### その他の壁面の場合

- 上記以外の場所（コンクリートなどの壁面）に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

## 7. 電池交換時期のお知らせ機能

電池の交換時期になりますと、明るいところでも秒針が12時位置で停止します。また、受信表示ランプは消灯します。時針および分針はこのような状態になってから約1ヵ月間注)時刻を表示し続けますが、時刻合わせボタンを押しても機能しなくなります。指定の新しい電池を用意して「5. 時計の使い方」(P. 7)に従って、お早めに電池を交換してください。

注) ご使用状態により、この期間は前後します。

※この時計は、アルカリ乾電池の特性に合わせて設計されていますので、松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」を使用しないでください。使用した場合、時計が正常に動かない、電池の寿命が短くなるなどの不具合が発生することがあります。



## 8. 電波受信の ON/OFF 切り替え

ノイズなどにより誤受信しやすいところや、意図的に時間をずらしてお使いになるときに、電波の受信を停止することができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

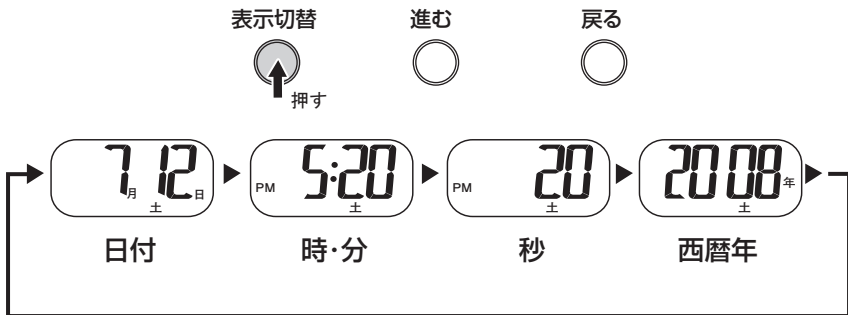
電波受信スイッチ ON：電波の受信を行います。

電波受信スイッチ OFF：電波の受信を行いません。

- 受信に成功した状態で、電波受信スイッチを「OFF」にしてから24時間以内は、受信表示ランプが点滅することがあります。
- 電波受信スイッチが「OFF」のとき、電池を入れたときやリセットボタンを押したときには、受信表示ランプが点灯し、針が早送りで動きますが、受信を行わずに通常の時刻の表示になります。

## 9. 表示の切り替え

表示パネルの表示内容を、日付(月日)→時分→秒→西暦年に切り替えることができます。表示切替ボタンを押すたびに表示が切り替わります。



## 10. スリープモニターと明暗センサー

明暗センサーにより、暗くなると秒針を12時位置で止め、受信表示ランプの点滅を停止します。明るくなると秒針は早送りで現在時刻の位置に移動します。

スリープモニターボタンはこの機能を擬似的に再現するものです。秒針が55～59秒のときに押し続けると、秒針が12時位置で停止します。ボタンを離すと、現在時刻位置に移動します。

明暗センサーは周囲の明るさに反応するため、昼間や夜間照明時でも、明るさが不足すると反応します。

## 11. 電波を受信できない場合

電波を受信できない場合は、以下の方法を試してください。

- **翌朝まで待つ**

一般的に、夜間は電波の受信がしやすくなります。翌朝まで様子を見ます。

- **場所を変える**

時計を設置する場所を変えて、強制受信ボタンを押して受信を試してください。

- **時刻合わせをしてその場所で使用する**

ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時刻精度はクオーツ精度になります。

※電波を受信しにくいところで使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。電波受信スイッチを「OFF」にしてご使用ください。

### 手動で時刻合わせをする方法

時刻合わせボタンを操作して任意の時刻に合わせることができます。

- ボタンを操作していないのに針が、早送り・停止している場合は、通常の動きになるのを待ってから操作してください。
- 電波受信スイッチが「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても受信に成功すると時刻は自動的に日本標準時に修正されます。
- 手動で時刻合わせをすると「クオーツ精度」になります。

### 手動時刻合わせの手順

「表示切替ボタン」を1秒以上押し続けると西暦年が点滅し、修正モードになります。

修正モードで「表示切替ボタン」を押すごとに、日付(月日)→時・分→修正モード解除(通常表示)の順に切り替わります。

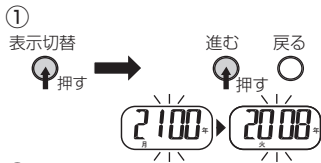
修正したい項目で、「戻る」「進む」ボタンを押して、数値を合わせます。

○修正モードでは、表示が点滅状態になります。

○「戻る」または「進む」ボタンを押して、すぐに離すと1つ戻したり、1つ進めます。

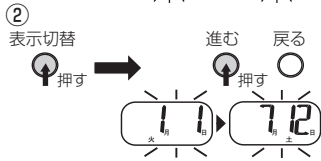
○「戻る」または「進む」ボタンを押し続けると、早送りに鳴ります。

## 手動での時刻合わせ操作例



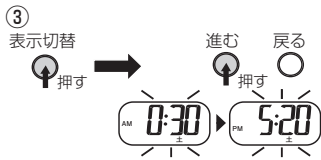
### ①年の修正

表示切替ボタンを1秒以上押すと年表示が点滅します。進むボタンを押して、2008年にします。



### ②月・日の修正

表示切替ボタンを押すと月・日表示が点滅します。進むまたは戻るボタンを押して、7月12日にします。(進む・戻るボタンは押し続けると、早送りになります。)



### ③時・分の修正

表示切替ボタンを押すと時・分表示が点滅します。進むまたは戻るボタンを押して、PM (午後) 5時20分にします。



### ④表示切替ボタンを押す

針が早送りで動き、時刻を指します。

この時計のカレンダーは2001年1月1日から2100年12月31日まで対応しています。電池を入れ、リセットボタンを押したときの初期値は、2100年1月1日となります。リセットボタンのみを押して、受信に失敗した場合は、押す前の値から継承します。

## 12. お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を掛けて使用していると、静電気により壁面や時計が汚れることがあります。定期的に掃除をしてください。

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

### ●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

### ●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

## 製品仕様

|                |  |               |                         |            |               |                |
|----------------|--|---------------|-------------------------|------------|---------------|----------------|
| 時 間 精 度        | 標準電波の受信に成功している場合（受信直後）<br>表示精度 秒針 ±1秒以内<br>時針・分針 目盛に対して±3度以内<br>標準電波を受信しない場合<br>平均月差 ±20秒以内（常温中のクォーツ精度）  |               |                         |            |               |                |
| 使 用 温 度 範 囲    | -10～+50℃（表示パネル可読範囲 0～+40℃）   |               |                         |            |               |                |
| 使 用 電 池        | 単3形アルカリ乾電池（JIS規格 LR6）2個  |               |                         |            |               |                |
| 電 池 寿 命        | 約1年  |               |                         |            |               |                |
| 自 動 受 信 回 数    | <table><tr><td>• 受信に成功している場合</td><td rowspan="4">} 1日最少1回最多3回<br/>1日12回受信</td></tr><tr><td>• 電池を入れた直後</td></tr><tr><td>• 72時間以上受信に失敗</td></tr><tr><td>• 手で時刻合わせをした場合</td></tr></table>                                 | • 受信に成功している場合 | } 1日最少1回最多3回<br>1日12回受信 | • 電池を入れた直後 | • 72時間以上受信に失敗 | • 手で時刻合わせをした場合 |
| • 受信に成功している場合  | } 1日最少1回最多3回<br>1日12回受信  |               |                         |            |               |                |
| • 電池を入れた直後     |  |               |                         |            |               |                |
| • 72時間以上受信に失敗  |  |               |                         |            |               |                |
| • 手で時刻合わせをした場合 |  |               |                         |            |               |                |
| そ の 他          | <ul style="list-style-type: none"><li>• 電波受信ON/OFF切り替え</li><li>• 受信表示ランプによる受信成功/失敗表示</li><li>• 明暗センサーによる秒針停止（眠る秒針）</li><li>• スリープモニター</li><li>• 表示パネル 日付、時・分、秒、西暦年表示切り替え</li><li>• カレンダー 2001年～2100年12月31日対応</li></ul> |               |                         |            |               |                |

※付属の電池は、工場出荷するときに入れてありますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※電池寿命は電波の受信に成功して、1日7時間秒針が明暗センサーにより停止しているときのものです。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して読み取りにくくなる場合があります。

※0～+40℃の範囲を超えると液晶の表示が読み取りにくくなります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。